

平成30年 4 月入学

大 学 院

生物システム応用科学府

(B A S E)

食料エネルギーシステム科学専攻

一貫制博士課程第3年次編入学

学生募集要項

東 京 農 工 大 学

募集要項の一部訂正について

本募集要項 5 ページの、「7 合格者発表」に誤りがございましたので、お詫びして訂正致します。

【訂正箇所】

7 合格者発表 (5 ページ)

誤) 「合格者は、平成 29 年 12 月 12 日 (月) 午前 10 時、小金井キャンパス BASE 本館 1 階掲示板で発表する。合格者には速やかに合格通知書等を郵送する。」

正) 「合格者は、平成 29 年 12 月 11 日 (月) 午前 10 時、小金井キャンパス BASE 本館 1 階掲示板で発表する。合格者には速やかに合格通知書等を郵送する。」

生物システム応用科学府のアドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

教育研究の目的、および人材養成の目的をふまえ、生物システム応用科学府は、以下のような人材を求める。

生物システム応用科学分野の学際性、融合性を考慮し、分野や履歴にとらわれず、高度の専門的・学際的知識の習得と知の開拓に強い意志を持ち、最新の科学技術の展開に関心を抱き、実践的に行動する意欲を持った学生を、広く国内外から受け入れる。

食料エネルギーシステム科学専攻の アドミッション・ポリシー (入学者受入方針)

食料エネルギーシステム科学専攻は、食料、エネルギー、環境の相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に熱意を持って挑戦し、複合領域に跨がる広い専門分野の人材を統率できるリーダーとして幅広い分野の専門家と連携したチームを作り、卓越したコミュニケーション力により国際社会で活躍できる人材の養成を目的とする。

よって、次のような人材を求める。

- ・世界の人類の生活と生存、特に食とエネルギーの局面に関心を持つとともに、これらに関する地球規模の課題に対する問題意識を持ち、自然エネルギー分野、蓄電・省エネ技術、バイオマス、環境調和型生産技術、土壌の再生力向上、環境変化に強い農作物の作出、省エネ型植物工場、精密農業技術、持続的要素リサイクルシステムの構築等、食料やエネルギーの生産に直接関わる専門領域の知識や技術の習得を通して、国際社会に貢献する意欲のある者。
- ・専門領域の知識や技術に限らず、これらを間接的に支える、あるいはこれらに大きな影響力を持つ社会システムに関心を持ち、総合的な課題解決に取り組む意欲を持つとともに、幅広い分野の専門家と連携したチーム作りに挑戦し、国際社会とのコミュニケーションを積極的に行う意欲のある者。

(一貫制博士課程)

教育指導予定教員との連絡について (必須)

出願にあたっては、志望する教育指導教員（後述）と連絡をとり、研究内容及び学力試験日程等の確認を必ず行ってください。また、事前に研究指導予定教員（後述）へ連絡し、今後の研究計画等の進め方について打ち合わせを必ず行ってください。

生物システム応用科学府 (BASE) 事務室

平成30年 4 月入学 東京農工大学大学院
生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻
(一貫制博士課程) 第 3 年次編入学 学生募集要項

1 本専攻の特徴

本専攻は、平成24年度に採択されたリーディング大学院プログラムにおいて構築してきたカリキュラムを基にして大学院教育の正規課程として設置されました。

本専攻では、高度な実践型研究人材として、食料、エネルギー、環境の相互不可分の関係を理解し、人類存続の究極課題に熱意を持って挑戦でき、複合領域に跨る広い専門分野の人材を統率できるリーダーとして、幅広い分野の専門家と連携したチームを作り、卓越したコミュニケーション力により国際社会で活躍できる人材の養成を目的としており、下記のような特徴を有しております。

○ 5 年一貫教育システム

従来の博士前期課程（2年）と博士後期課程（3年）を貫いた、5年一貫教育システムを採用しています。従来の博士前期課程の1、2年次を“PreD”、“D0”と呼び、従来の博士後期課程をD1～D3とした5年一貫教育を行うことにより、従来の2年と3年の間の区切りをなくして、海外で実施するワークショップやプログラム、インターンシップ、研究室ローテーションを組み込んだ戦略的な実践教育を可能にしました。

○ 研究室ローテーション等による横断的複数研究指導

学生は、本専攻に所属する専任教員を教育指導教員（後述）とするほか、多角的な視野の形成と複合領域の技術的理解を達成するため、本専攻あるいは本専攻以外の教員を研究指導教員（後述）としてPreDからD0の間、合計3名（研究指導教員A，B，C）を選択し、研究分野をまたがった研究指導を受けることとなります。

○ 四学期制の導入

四学期制（クォーター制）を導入し、学生それぞれの方向性に応じて海外留学など国際的な活動を柔軟に取り込める仕組みとなっています。

第3年次編入学では、以上の本専攻の特徴を踏まえて、出身学部や経歴に捉われず、高い意欲と熱意をもった学生を、国内外から募集いたします。

2 募集専攻・募集人員等

| 専攻名 | 募集人員 | 備考 |
|---------------|------|------------------------|
| 食料エネルギーシステム科学 | 若干名 | 募集人員には、外国人留学生及び社会人を含む。 |

3 出願資格

(1) 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 修士の学位を有する者又は専門職学位を有する者及び入学する月（4月）の前までに当該学位を取得見込みの者
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月（4月）の前までに取得見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職

- 学位に相当する学位を授与された者及び入学する月（4月）の前までに取得見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学する月（4月）の前までに授与される見込みの者
 - ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下、「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学する月（4月）の前までに当該学位を取得見込みの者
 - ⑥ 外国の学校、上記（4）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び入学する月（4月）の前までに合格見込みの者
 - ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）。
 - 〔1〕 大学を卒業し、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - 〔2〕 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ⑧ 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学する月の1日現在24歳に達した者

注）「出願資格⑦⑧」により出願する者は、事前審査を行う。（「出願資格⑦・⑧の認定について」7頁参照のこと。）

4 出願期間

平成29年10月19日（木）～10月20日（金）まで
窓口受付時間は9時30分～11時30分、13時30分～16時まで。

5 出願手続

所定の出願書類等を出願期間中に事務室へ郵送又は持参すること。郵送する場合は、封筒の表に「一貫制博士課程第3年次編入学出願書類在中」と朱書し、書留速達で送付すること。10月20日（金）までに到着したものを受理する。

出願書類提出先及び問い合わせ先

東京農工大学大学院生物システム応用科学府事務室

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16

東京農工大学小金井キャンパス内 管理棟 小金井地区学生支援室入試係（1階）

TEL 042（388）7014（直通）

6 選抜方法

選抜は、書面審査、学力検査を総合して行う。身体に障害がある者で受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、小金井地区学生支援室入試係へ申し出ること。

(1) 出願書類等

| 出 願 書 類 | | 注 意 事 項 |
|---------|--|--|
| A | 編 入 学 志 願 票 (所 定 用 紙) | 「志望する指導予定教員」の欄は必ず記入してください。 |
| B | 写 真 票 ・ 受 験 票 (所 定 用 紙) | 写真票・受験票には、脱帽上半身で志願者本人と判る写真（タテ4cm×ヨコ3cm）を貼付すること。 |
| C | 修了（見込）証明書 | 出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程修了（見込）証明書を提出すること。ただし、出願資格⑦・⑧に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。 |
| D | 成 績 証 明 書 | <p>1) 出身大学院で作成したものを提出すること。ただし、出願資格⑦・⑧に該当する者、本学府博士前期課程に在学中の者は、提出不要。</p> <p>2) 1) のほか、任意により、外国語能力を証明する資料を提出することができます。提出の場合、以下指示のとおり、外部の英語資格試験（いずれか一つ）のスコアシート（成績証明書）の原本を提出してください。</p> <p>①本学が指定する外部の英語資格試験は、TOEIC公開テスト、TOEIC-IPテスト（本学実施に限る）、TOEFL PBT、TOEFL iBTとする。</p> <p>②出願書類として提出するスコアシートは、TOEIC、TOEIC-IPテストの場合、Official Score Certificate（公認認定証）の原本とする。TOEFL PBT、TOEFL iBTの場合、Examinee Score Report（受験者用控えスコア票）の原本とする。</p> <p>③スコアシート（成績証明書）原本は、当該試験願書提出期限から遡って2年以内に受験したものに限り、</p> <p>④願書提出期限までに提出できない場合は、その理由が認められた場合に限り、受験当日までの提出を認める。</p> |
| E | 研 究 成 果 の 概 要 (所 定 用 紙) | <p>1) 博士前期課程又は修士課程修了者及び大学院又は共同獣医学科に在学中の者は、これまでの研究成果を要約した概要を日本語（2,000字程度）と英語（500 words程度）で提出すること。</p> <p>2) 出願資格⑧に該当する者（共同獣医学科に在学中の者を除く）及び社会人で出願を希望する者は、これまでの研究成果（学術論文、勤務先での職務など）の概要を日本語（2,000字程度）と英語（500 words程度）で提出すること。日本語を母語としない人は英語のみでも可。多様な研究歴を有する場合には、研究分野ごとに記載する。なお、修士論文に関連した別刷又はその写しがある場合は添付すること。</p> |
| F | 研 究 業 績 一 覧 (所 定 用 紙) 及 び 研 究 業 績 等 の 別 刷 | 出願資格⑧に該当する者（共同獣医学科に在学中の者を除く）及び社会人で出願を希望する者は、研究業績等（学術論文、研究発表・報告、特許等）について記入し提出すること。なお、その研究業績等の別刷又は写し等がある場合にはそれらも併せて提出すること。 |
| G | 入 学 申 請 用 紙 (書 面 審 査 用) (所 定 用 紙) | ①本専攻の志望動機、②研究成果の概要、③今後の研究の展望と本専攻の教育目的との関連、④本専攻修了後の将来構想について、それぞれ日本語で400字以内、もしくは英語200単語以内で記述すること。 |
| H | キ ャ リ ア プ ラ ン | 本専攻修了後の将来構想について、日本語（1,000字程度）もしくは英語（250 words程度）で記述すること。 |
| I | 在 職（在 籍）証 明 書 (様 式 随 意) | 社会人等で出願を希望する者は、主な職歴について、所属長等が作成した職務内容及び在職期間が明記された在職（在籍）証明書を提出すること。 |
| J | 住 民 票 の 写 し 等 | <p>1) 外国人は、住民票の写し（国籍等、在留資格、在留期間及び在留期間の満了の日が記載されたものに限り）、又は、パスポートの写しを提出すること。</p> <p>2) 国費留学生は、国費外国人留学生証明書を提出すること。</p> |

| 出 願 書 類 | | 注 意 事 項 |
|---------|------------------------|--|
| K | 入 学 検 定 料 | 30,000円〔入学検定料払込用紙に志願者の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局窓口で支払い、「振替払込受付証明書」を入学検定料納付確認票に貼り付けて本学に提出すること。〕 ※本学の学府・研究科から引き続き本課程に進学する者及び入学後の国費外国人留学生の奨学金支給延長が決定している外国人留学生は提出不要。 |
| L | 受付用シール及び連絡受信先シール（所定用紙） | 必要事項を記入すること。なお、提出後住所等の変更があった場合は、速やかに連絡すること。 |

本学(大学院連合農学研究科の構成大学を含む。)の学府・研究科修了見込みで出願する者は、本学学則第39条の2に定める「進学する者」として扱いますので、入学検定料及び入学料が不要となります。

*東京農工大学学則 第39条の2

本学(大学院連合農学研究科の構成大学を含む。)大学院の博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程を修了し、引き続き博士後期課程又は博士課程に進学する者の入学料及び検定料は、徴収しない。

(2) 選抜方法

〔1〕 書面審査

本専攻の趣旨の理解度と本専攻の学生としての資質を評価するため、出願時に提出する「入学申請用紙（所定用紙）」による書面審査を実施する。

〔2〕 学力検査

提出された入学申請用紙、研究成果の概要等に関する発表を含む口述試験を行う。なお、発表は日本語及び英語で行う。

入学申請用紙に記載された4項目「①本専攻の志望動機、②研究成果の概要、③今後の研究の展望と本専攻の教育目的との関連、④本専攻修了後の将来構想」と意欲などを審査する。

これらの内容を盛り込んだプレゼンテーション資料を準備すること。（詳細は別途案内を送付する。）

日時及び場所：平成29年11月20日（月）～21日（火） 東京農工大学小金井キャンパス内

なお、試験会場等の詳細については、別途出願者に通知する。

7 合格者発表

合格者は、平成29年12月12日（月）午前10時、小金井キャンパスBASE本館1階掲示板で発表する。合格者には速やかに合格通知書等を郵送する。

8 入学手続

- (1) 入学手続日時及び場所
平成30年3月15日（木）13時30分～16時まで。
東京農工大学小金井キャンパス内（予定）
- (2) 入学に要する費用
 - ① 入学料……282,000円
ただし、本学の学府・研究科から引き続き本課程に入学する者は納入不要
 - ② 授業料……前期分 267,900円
ただし、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

本学(大学院連合農学研究科の構成大学を含む。)の学府・研究科修了見込みで出願する者は、本学学則第39条の2に定める「進学する者」として扱いますので、入学検定料及び入学料が不要となります。

*東京農工大学学則 第39条の2

本学(大学院連合農学研究科の構成大学を含む。)大学院の博士前期課程、修士課程又は専門職学位課程を修了し、引き続き博士後期課程又は博士課程に進学する者の入学料及び検定料は、徴収しない。

- (3) 必要書類等
在職のまま入学を希望する者は所属長等の入学承諾書（所定用紙）を提出しなければならない。また、他の大学院に在学中の者は退学証明書を提出しなければならない。なお、提出できない場合は入学許可を取り消すことがある。
- (4) その他
身体に障害がある者で修学上特別な措置を希望する者は、小金井地区学生支援室入試係へ申し出ること。

9 注意事項

- (1) 出願に当たっては、志望する教育指導予定教員に連絡し、確認を得ておくこと。
- (2) 学力検査には必ず、受験票を携帯すること。
- (3) 出願手続後における提出書類の内容変更は、認めない。
- (4) 本要項及び大学からの指示する諸事項を守らない場合は、受験できない場合がある。
- (5) 入学試験に関する照会は、2頁に記載の出願書類提出先とする。
- (6) これ以外の試験に関する注意事項は、出願時に配布する。
- (7) 納入した検定料は、いかなる理由があっても払い戻さない。
- (8) 本試験に関する変更等が生じた場合は、直ちに志願者に通知する。

10 指導教員

本専攻に編入学する学生は、以下の2種類の指導教員により、教育研究上の指導を受ける。
志望する教育指導教員および主たる研究指導教員（研究指導教員A）名を入学志願票（所定用紙）に記載すること。

(1) 教育指導教員

本専攻の8名の専任教員の内の一名が担当する。キャリア開発プログラム、研究指導B、Cの選択方法、海外研修、共同研究等を研究指導教員と相談しながら助言するなど本専攻のカリキュラム受講をサポートする。

また、志望する主たる研究指導教員については、教育指導教員に事前に必ず報告あるいは相談すること。

| 教育研究分野名 | 教員名 |
|--------------|-----------|
| 物質エネルギーシステム | 教授 神谷 秀博 |
| 物質エネルギー設計 | 准教授 富永 洋一 |
| エネルギーシステム解析 | 教授 秋澤 淳 |
| 生物情報計測システム | 准教授 榊田 晃司 |
| 生態系型環境システム | 教授 豊田 剛己 |
| 生物応答制御科学 | 准教授 梅澤 泰史 |
| 食料安全科学 | 教授 佐藤 令一 |
| 環境モニタリングシステム | 准教授 赤井 伸行 |

(2) 研究指導教員

本専攻および本学の工学府、農学府、生物システム応用科学府生物機能システム科学専攻のいずれかの教員を主たる研究指導教員（研究指導教員A）とすることができる。教育指導教員が主たる研究指導教員を兼ねることもできる。

また、志望する教育指導教員については、主たる研究指導教員に事前に必ず報告または相談すること。

(3) 補足説明

本一貫制博士課程では、上記（2）の研究指導教員に加えて、入学後にさらに2名の研究指導教員（研究指導教員B、C）を選ぶ必要がある（これまでの経歴によっては免除）。

11 出願資格 ⑦・⑧ の認定について

出願資格の認定とは、本学府への出願資格の有無を判定するためのものであり、下記のとおり実施する。

1. 申請書類受付日時

受付日……平成29年8月23日（水）～8月24日（木）

受付時間…9時30分～11時30分、13時30分～16時

受付場所…小金井キャンパスBASE本館（2階）大学院生物システム応用科学府事務室

なお、やむを得ず郵送する場合は、必ず封筒の表に「一貫制博士課程出願資格認定書類在中」と朱書し、書留速達で送付すること。8月24日（金）までに到着したものを受理する。

2. 提出書類等

ア) 出願資格認定申請書（所定用紙）

イ) 卒業証明書（出身大学等最終学校長が作成したもの）

ウ) 成績証明書（出身大学等最終学校長が作成し厳封したもの）

但し、卒業後10年以上を経過した者については、提出する必要はない。

エ) 3頁に掲げる出願書類のうち、F、G、Iを提出すること。

3. 認定審査

本学府において、提出書類及び面接等により認定審査を行う。

4. 認定結果

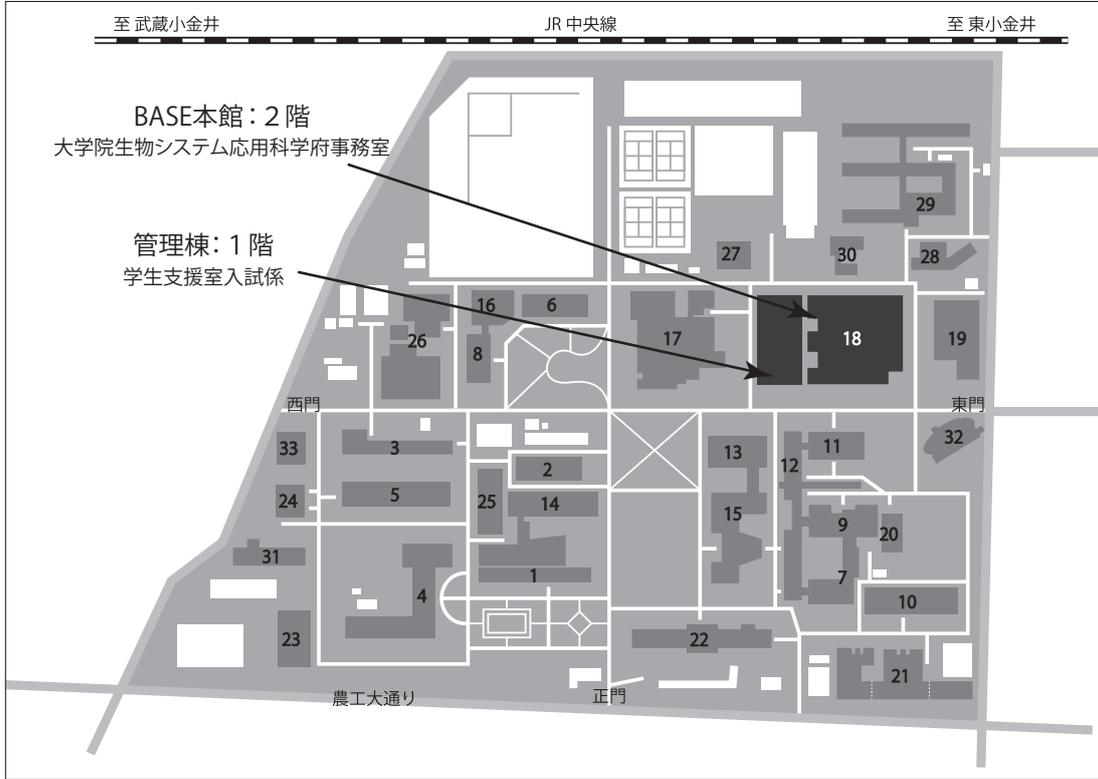
平成29年9月1日（金）午前10時に、小金井キャンパスBASE本館1階掲示板で発表する。

5. 出願手続

出願資格の認定を受けた者は、一般志願者と同様に
出願手続を行うこと。

12 所在地

東京農工大学小金井キャンパス案内図



| | | | |
|---|--|--|--------------------|
| 1 1号館(応用分子化学科・有機材料化学科・化学システム工学科) | 10 10号館(生命工学科・応用分子化学科・情報工学科) | 18 BASE本館(大学院生物システム応用科学府(B ASE)) | 28 小金井国際交流会館 |
| 2 2号館(機械システム工学科) | 11 11号館(生命工学科・機械システム工学科) | 19 工学部総合会館 | 29 榊寮(男子寮) |
| 3 3号館(電気電子工学科) | 12 12号館(生命工学科・有機材料化学科・機械システム工学科・情報工学科) | 20 CAD/CAM実習施設 | 30 桜寮(女子寮) |
| 4 4号館(有機材料化学科・化学システム工学科・物理システム工学科・産業技術専攻) | 13 13号館(国際センター) | 21 先端産学連携研究推進センター(VBL棟・共同研究施設・インキュベーション施設) | 31 小金井第2宿舍(職員宿舎) |
| 5 5号館(化学システム工学科・電気電子工学科・機器分析センター) | 14 新1号館(応用分子化学科・電気電子工学科) | 22 科学博物館 | 32 140周年記念会館(エリプス) |
| 6 6号館(機械システム工学科) | 15 工学部講義棟 | 23 先端科学実験棟 | 33 次世代キャンパス研究センター |
| 7 7号館(情報工学科) | 16 中央棟(産業技術専攻・工学部事務局) | 24 環境管理施設 | |
| 8 8号館(総合情報メディアセンター) | 17 小金井図書館 | 25 ものづくり創造工学センター | |
| 9 9号館(機械システム工学科) | | 26 体育館・武道場 | |
| | | 27 工学部RI実験研究棟 | |



◎交通機関

J R 中央線 東小金井駅 (新宿から約25分) 南口から徒歩約 8 分
 武蔵小金井駅 (立川から約13分) 南口から徒歩約13分

〒184-8588 東京都小金井市中町 2 丁目24-16 ☎ (042) 388-7014 (直通)

東京農工大学大学院生物システム応用科学府

受験志願者 各位

東京農工大学大学院
生物システム応用科学府

提供いただいた情報の利用について

受験出願に際し提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシー（平成17年8月公表 URL. <http://www.tuat.ac.jp/>）に規定する利用目的に沿って利用するものであり、その利用目的以外の目的に利用することはありません。

入 学 志 願 票

| | | | | |
|--|-----------------|----------|-------------------|-----------------------|
| 選 抜 区 分 | 一 般 選 抜 | | 受 験 番 号 | |
| | | | ※ | |
| 志望する教育指導教員 | | 研究指導予定教員 | | |
| 教 員 名 | | 所属学府・専攻 | 教員名 | |
| | | | | |
| ふ り が な 氏 名 | | | | 性別 男・女 |
| 生 年 月 日 | (昭和・平成) | 年 | 月 | 日生 |
| 本 籍 国籍又は地域 | 都・道・府・県 国・地域 | | | |
| 現 住 所 | (〒 -) | | | 電話 () |
| 連 絡 場 所 | (〒 -) | | | 電話 () E-mail: () |
| 出 身 大 学 | 大学 | | 学部 | 学科 |
| | | | 年 | 月 卒業 |
| | 大学大学院 | | 研究科 教育部 学 府 | (修士・博士前期) |
| | | | 専攻 | 年 月 修了・修了見込 |
| 社会人の場合 勤務先及び職業 | 会社名 〒 TEL | 役職名 | | |
| 履 歴 書 | | | | |
| 学 歴 | 年 月 | 事 項 | | |
| | | | | |
| 高等学校卒業から記入して下さい。なお、大学等で研究生として在学歴がある場合は、その期間も記入して下さい。 | | | | |
| 職 歴 | | | | |
| 備 考 | | | | |
| 資格、賞罰等がある場合は記入して下さい。 | | | | |

| | |
|--|---|
| 平成30年4月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻 (一貫制博士課程 編入学) | |
| <h2>写 真 票</h2> | |
| <div style="border: 1px dashed black; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>写 真 欄</p> <p>写真は脱帽上半身 4cm×3cm</p> </div> | |
| 受験番号 | ※ |
| ふりがな | |
| 氏名 | |

| | |
|--|---|
| 平成30年4月入学 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻 (一貫制博士課程 編入学) | |
| <h2>受 験 票</h2> | |
| <div style="border: 1px dashed black; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>写 真 欄</p> <p>写真は脱帽上半身 4cm×3cm</p> </div> | |
| 受験番号 | ※ |
| ふりがな | |
| 氏名 | |

| | |
|---------------------|----------------|
| 志望する教育指導教員名 | 研究指導予定教員名 |
| | |
| 生 年 月 日 | (昭和・平成) 年 月 日生 |
| 注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。 | |

| | |
|---|----------------|
| 志望する教育指導教員名 | 研究指導予定教員名 |
| | |
| 生 年 月 日 | (昭和・平成) 年 月 日生 |
| 注) 1 ※印欄は記入しないで下さい。 2 学力検査の際は必ず本票を机上におくこと。 3 受験票は大切に保管しておくこと。 | |

研 究 成 果 の 概 要

| | | | | | |
|-----------------|---|-------------|--|----|--|
| 受験 番号 | ※ | 教育指導 教員名 | | 氏名 | |
| 研 究 題 目 | | | | | |
| 研 究 成 果 の 概 要 | | | | | |
| 日本語 (2,000 字程度) | | | | | |

英語 (500 単語程度)

研 究 業 績 一 覧

| 受験番号 | ※ | 氏名 | | | |
|---------------------|---|------------|---------------------|------------------|--|
| 学術論文、研究発表・報告、特許等の名称 | | 発行又は発表の年月日 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 備考（共著者名又は共同発表者名） | |
| | | | | | |

注) 年代順に記載のこと。また、学術論文等は、別刷又は写を添付すること。
※印は、記入しないこと。

入 学 申 請 用 紙

| | | | | | |
|------------|---|---------------|--|-----|--|
| 受 験 番 号 | ※ | 教育指導 教 員 名 | | 氏 名 | |
|------------|---|---------------|--|-----|--|

募集要項と本専攻の教育目的の趣旨に基づき、以下の項目について、それぞれ400字以内（英語なら、200単語以内）で記述して下さい。
（この様式であれば、別紙にて作成可）

- ① 本専攻の志望動機、② 研究成果の概要、③ 今後の研究の展望と本専攻の教育目的との関連、④ 本専攻修了後の将来構想

キャリアプラン

| | | | | | |
|----------|---|-------------|--|----|--|
| 受験 番号 | ※ | 教育指導 教員名 | | 氏名 | |
|----------|---|-------------|--|----|--|

本専攻修了後の将来構想について、日本語で 1,000 字程度あるいは英語で 250 語程度記述すること。

平成30年4月入学 東京農工大学大学院生物システム応用科学府
食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程、編入学）

入学試験出願資格認定申請書

| | | | |
|--------------------------------------|-------------------|-----|-----------|
| ふりがな 氏名 | ◎ | 現職 | |
| 生年月日（年齢） | （昭和・平成） 年 月 日（ 歳） | 現住所 | 〒 TEL - - |
| 学 歴 | | | |
| 年 月 日 | 事 項 | | |
| | | | |
| 職 歴 （研究・開発等の業務内容を詳しく記入して下さい。） | | | |
| 年 月 日 | 事 項 | | |
| | | | |
| 学会及び社会における活動状況 | | | |
| 年 月 日 | 事 項 | | |
| | | | |

入 学 承 諾 書

氏 名

このたび、上記の者が在職のまま貴大学大学院生物システム応用科学府食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）に入学することを承諾します。

平成 年 月 日

東京農工大学大学院 生物システム
応用科学府長 神谷 秀博 殿

住 所

所属機関

所 属 長

印

入学検定料納付確認票

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

「振替払込受付証明書」を
貼り付けてください。

(注意)

1. 郵便局・ゆうちょ銀行の受付
日附印がないものは無効です。
2. 振替払込受付証明書の所定欄
に志願者住所・氏名を必ず記
入してください。
3. 振替払込請求書兼受領証は大
切に保管し、ここに添付して
はいけません。
4. 納入された入学検定料は原則
返還しません。

※印欄は記入しないでください。

入学検定料払込用紙

- ・本払込用紙に、志願者（ご依頼人）の住所・氏名（フリガナ）を記入のうえ、支払期限までに郵便局・ゆうちょ銀行窓口でお支払いください。
- ・右端の「振替払込受付証明書」を、入学検定料納付確認票に貼り付けて提出してください。（受付局日附印のないものは無効）
- ・「振替払込請求書兼受領証」は受領証書となります。改めて本学から受領証書は発行いたしませんので、大切に保管してください。

切 り 取 っ て ご 使 用 く だ さ い

払 込 取 扱 票

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|--|
| 00 | 口座記号番号 | | | | | | | | | | 金額 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | |
| 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 8 | 4 | 6 | 3 | 4 | 2 | 6 | | | | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 加入者名 | 国立大学法人 東京農工大学 | | | | | | | | | | 料金 | | | | | 備考 | | | | |
| 通信欄 | ※ 平成30年度 入学検定料 東京農工大学 大学院生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム専攻編入学 支払期限 平成29年10月20日（金） 必ず窓口で払い込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ご依頼人 | 志願者住所（郵便番号） ※ 志願者氏名（フリガナ） 様 （電話番号 - -） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（私製承認東第43999号） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| これより下部には何も記入しないでください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください

振替払込請求書兼受領証

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|--|---|--|--|--|--|--|--|
| 口座記号番号 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 8 | | | | | | | | | | | | | |
| | 百 | | 十 | | 万 | | 千 | | 百 | | 十 | | 番 | | | | | | |
| | 4 | | 6 | | 3 | | 4 | | 2 | | 6 | | | | | | | | |
| 加入者名 | 国立大学法人 東京農工大学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金額 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | |
| ご依頼人 | 志願者氏名（フリガナ） ※ 様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 料金 | （消費税込み） 日 附 印 円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください

切り取らないでお出しください

振替払込受付証明書（お客さま用） 〔大学提出用〕

（払込人⇒郵便局⇒払込人）

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 口座記号番号 | 00120-8-463426 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 加入者名 | 国立大学法人 東京農工大学 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 金額 | 千 | 百 | 十 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | |
| ご依頼人住所氏名 | ※（志願者住所氏名） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 平成30年度 入学検定料 大学院生物システム応用科学府 受付局日附印のないものは無効 日 附 印 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

（私製承認東京貯金事務センター第1232号）

① 入学検定料は、必ずこの払込用紙を使用して郵便局・ゆうちょ銀行で払い込んでください。

② 払込の際に日附印を押印した「振替払込受付証明書」を受け取り、入学検定料納付確認票の指定欄に貼り付けて提出してください。

(注意)

志願者住所、氏名欄に記入漏れがないか、郵便局・ゆうちょ銀行の日附印が漏れていないか、確認の上提出してください。

(記入漏れ、日附印のないものは無効となります。)

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。

・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

平成30年 4 月入学食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程 編入学）

- ① ※印欄は記入しないでください。
- ② このシールは、台紙にのり付けされたままの状態でご提出してください。
- ③ 教育研究分野、指導予定教員は、6 頁を参照してください。

受付用シール

| 氏 名 | 性別 | 出身大学 出身大学院 | 大学記入 | 教育指導教員 | 研究指導教員 | 入学期 | 学籍番号 (本学卒業 見込み者) | 検定料 の有無 | 備 考 |
|----------------|-----|----------------|------|--------|--------|---------|------------------------|------------|-----|
| ふりがな | 男・女 | (大学) | ※ | | | 平成30年4月 | | 有・無 | ※ |
| | | 年 月卒業 | | | | | | | |
| | | (大学院) | | | | | | | |
| (昭和・平成) 年 月 日生 | | 年 月修了・修了見込・在学中 | | | | | | | |

連絡受信先シール

このシールは、「入学手続き書類」、その他連絡事項を送付する場合の宛名として使用します。

| | | | | |
|------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 郵便番号 | 〒 ー | 〒 ー | 〒 ー | 〒 ー |
| 住 所 | _____ _____ _____ | _____ _____ _____ | _____ _____ _____ | _____ _____ _____ |
| 氏 名 | _____ 殿 (※) | _____ 殿 (※) | _____ 殿 (※) | _____ 殿 (※) |